



題 字  
初代会長 松野 盛吉

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 樋渡 徹  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubairainsatsu.co.jp>

## 年頭の ごあいさつ

一般財団法人秋田県消防協会  
会長 樋渡 徹



令和8年の新春を迎え、県民の皆様並びに消防職・団員はじめ消防関係者の皆様に謹んで御挨拶を申し上げます。

皆様には、地域住民の生命・財産をあらゆる災害から守るため、昼夜を問わず活動され、様々な努力をされていることに心から敬意と感謝を表します。

さて、昨年2月に岩手県大船渡市で発生した林野火災は鎮火宣言まで40日を要し、焼失面積3370haの平成以降最大規模と言われる火災となりました。また、11月には大分市で180棟余の建物が焼損する火災が発生しました。被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

2025年度全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

本県においては、7月から8月に猛暑少雨に見舞われましたが、その後一転して、8月と9月の大雨で仙北市や能代市など各地で住家や農業施設等に大きな被害がありました。

また、昨年は、北海道・東北地方でクマが大量出没し、本県では出没件数・捕獲数が全国最多となり県民生活の大きな脅威となりました。対策として、里山の管理、個体数管理、専門家確保などが指摘されています。関係機関には実効性の高い対策を期待するとともに、私たちも身の回りの予防策を徹底することが大切です。

協会においては、7月12日、大館市で「第76回秋田県消防大会」を開催しました。県内各地から約600名の消防職・団員が参加し、第19回意見発表会では、県北3支部から選出された3名の団員が消防団活動を通じて考えた提言等を発表しました。

9月27日と28日、「2025 AKITA 防災キャンペーンフェス」(秋田魁新報社主催)が日本赤十字東北看護大学グラウンドで開催され、若手や女性の消防団員、消防職員がスタッフとなり、来場者に毛布担架や水消

火器などの体験をしてもらい消防団活動のPRを行いました。

10月28日、横浜市で「第26回全国消防操法大会」が開催され、本県から大仙市女性消防隊が第25回大会に続き出場しました。入賞には届きませんでしたが、地元から駆けつけた大勢の応援団が見守るなか、優れたチームワークで健闘しました。

近年、我が国では、これまでの予測や経験を超える災害がいつでもどこでも発生するようになっていきます。本県では、4年連続で記録的大雨に見舞われております。

こうした困難な状況に対応するため、消防職・団員の装備の充実や教育訓練、さらに地域住民を巻き込んだ防災減災の備えが益々重要になってきます。皆さまにおかれましては、地域における消防防災の要として、これまで培われてきた知識と豊富な経験を活かし、お力添えを賜りますようお願いいたします。

本年が災害のない平穏な年になりますこと、さらに皆様にとって充実した素晴らしい年でありますことを祈念し、新年の挨拶といたします。

# 令和8年の 新春を迎えて



秋田県知事  
鈴木 健太



明けましてお  
めでとうござい  
います。県内消  
防関係者の皆様  
におかれまして

は、健やかに新春をお過ごしのこと  
と心からお慶び申し上げます。

皆様には、県民の生命・財産を守  
るため、昼夜を分かたず献身的に消  
防防災活動にご尽力いただいている  
ことに対し、深く敬意を表しますと  
ともに、心から感謝申し上げます。

昨年は、クマの大量出没が、日々  
の暮らしや経済活動を脅かす異常事  
態となりました。県では、市町村や  
猟友会、警察、自衛隊等と共に総力  
を挙げて被害防止対策に努めてきた  
ところですが、県内の消防団におか  
れても、率先して地域の巡回等を行  
っていたのだと伺っております。

また、昨年は、4年連続となる大  
雨により、各地で甚大な被害が発生  
し、被害地域の皆様は、家屋への浸  
水など大変な困難に直面されまし  
た。こうした厳しい状況にもかかわらず、人的被害が発生しなかつたこ

とは、県民の皆様の日頃の備えに加  
え、消防関係者の的確な対応による  
ものであり、日々訓練を重ねなが  
ら、消防防災活動に鋭意従事してい  
ただいている皆様に改めて感謝申し  
上げます。

一方、県内の火災発生状況は、昨年  
の総出火件数や死者・負傷者数が前  
年を下回りましたが、建物火災は増  
加傾向にあり、火災予防の更なる啓  
発や迅速な消火活動体制の維持が引  
き続き重要であると考えております。

また、激甚化・頻発化する災害に  
対応するためには、常備消防はもと  
より、地域防災の中核である消防団  
の役割がますます大きくなっており  
ますが、団員数の確保が喫緊の課題  
と認識しております。

このため、県では、映画館での消防  
団のPR動画配信や、消防団員が特  
典を受けられる「消防団応援の店」制  
度を開始したほか、若手・女性消防  
団員によるPR活動を支援するな  
ど、団員減少への歯止めと、消防団活  
動の活性化に取り組んでいるところ  
です。皆様からも特段のご協力を  
賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が火災や災害のない  
穏やかな一年となり、皆様にとりま  
して希望に満ちた飛躍の年となるこ  
とを祈念申し上げ、年頭のごあいさ  
つといたします。

## さまざまな環境変化のなか、 地域の安全を

― 令和8年新春ごあいさつ ―



公益財団法人日本消防協会  
会長 秋本 敏文



新年おめでと  
うございます。  
秋田県では、こ  
れまで火災のほ  
か、地震、津波、

台風や大雨による風水害、河川の氾  
濫、浸水など、さまざまな災害を体験  
しておられ、その都度、県下の消防職  
員、消防団員、自主防災組織、女性防  
火クラブなど消防関係の皆様は、県  
民の皆様の生命財産を守るため全力  
を尽くして来られました。深く感謝  
申しあげ、心から敬意を表します。

近年は、災害の様相が大きく変化  
していますし、人口減少や地域コ  
ミュニティの弱体化など社会経済の  
変化もあります。このような状況に  
対処して地域の安全を守るため、消  
防は力を尽くさなければなりません。  
そこにはいろいろな課題があり  
ます。

気象に関連する災害、被害につい  
ては、地域に関連する正確な情報の  
把握、分析、共有などが必要ですし、  
その地域の自然的社会的状況に応じ

た的確な対応が、益々重要になつて  
います。

国内でも世界各地でも頻発してい  
る林野火災については、火災の発生  
防止、適切な消火対応、住宅への延焼  
防止などの課題がありますので、新  
しいニッショーホールで国際会議を  
開催して、参考になる各国情報の収  
集をいたしました。

対応体制の確保の面では、消防団  
員や女性防火クラブ、自主防災組織  
のメンバー確保が大きな課題です。  
当協会では消防団員確保対策推進本  
部を設けるなどして消防団のPRを  
関係方面にお願いしたり、消防応援  
団の皆さんにご協力いただくラジオ  
放送「おはよう！ニッポン全国消防  
団」を約20年継続していますが、最近  
は地域コミュニティ活動のなかで皆  
さんのご関心対象になるようにとい  
うことも申し上げています。

消防をとりまく環境に大きな変化  
があるなか、国民の皆さんの生命財  
産を守り抜くという消防使命の達成  
に力を尽くしていくことができます  
よう、今年も関係の皆様とともに、努  
力してまいります。

秋田県下の無事平穏、消防関係の  
皆様のお元気なご活躍を心からお祈  
りして新年のごあいさつとさせていただきます。

# 新年のごあいさつ



秋田県市長会会長  
齊藤 滋宣



令和 8 年の新春を迎え、皆様  
に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

消防職員及び消防団員の皆様におかれましては、火災をはじめ多様化する災害から県民の生命と財産を守るため、昼夜を問わず献身的に職務を遂行していただいておりますことに心より敬意を表します。

また、秋田県消防協会におかれましては、防火防災に関する知識・技能の普及啓発、消防団員の研修、消防操法大会の開催など、地域防災力の向上にご尽力いただいております。その取り組みに深く感謝申し上げます。

近年、線状降水帯による集中豪雨や台風に伴う土砂災害など、全国各地で甚大な被害が相次いでおります。本県においても、昨年 8 月から 9 月にかけて記録的な豪雨により河川の氾濫、浸水、土砂災害が各地で発生し、建物の半壊や床上浸水など大き

な被害を受け、激甚災害に指定されました。こうした厳しい状況の中にあつて、消防職員・消防団員の皆様が発現場で懸命に活動されたことにより、多くの尊い命と生活が守られました。その崇高な使命感に対し、改めて深い敬意を表します。

大規模化・激甚化する災害に備えるためには、地域防災の中核を担う消防・消防団の体制整備が欠かせません。秋田県市長会では、消防団員の確保や待遇改善、さらに更新・配備に多額の費用を要する消防設備への財政支援の充実など、消防力向上に向けた施策の拡充を国に要望しているところであります。

皆様におかれましては、引き続き地域の安全・安心の確保にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。秋田県市長会といたしましても、県内各市が力を合わせ、災害に強いまちづくりに向け、取り組みを一層進めてまいります。

結びに、消防職員並びに消防団員の皆様が安全に任務を遂行され、地域の防災力がさらに高まりますこと、そして災害のない平穏な一年となりますことを心より祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 令和 8 年の新春を迎えて



秋田県消防長会会長  
堀井 正人



輝かしい令和 8 年の新春を迎え、皆様の健やかな門出を心よりお喜び申し上げます。

皆様には、平素より消防行政の円滑な推進に格別なご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地で地震や豪雨などの自然災害が頻発し、大船渡市の林野火災や大分市の大規模火災など尊い人命が失われる悲しい出来事もありました。秋田県内においても、8 月と 9 月に大雨による河川の氾濫等が発生し、多くの住民の皆様の生活に大きな影響を及ぼしました。

犠牲となられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心より、お見舞い申し上げます。

近年、自然災害激甚化・頻発化による災害リスクは依然高い水準にあ

ります。これに対し、消防は、更なる災害対応能力の向上に努めていかなければなりません。具体的には、消防団との連携強化、地域防災力の向上、そして消防職員の知識・技術の修練などの取り組みです。

消防団は、地域に密着した活動を展開し、初期消火や避難誘導など、災害発生時に重要な役割を担っています。消防団の活性化を図り、地域防災力の要として、その能力を最大限に発揮できるよう支援してまいります。

また、消防職員に対しては、災害の多様化に対応できる専門知識や技術の習得を目的とした研修の充実を図ってまいります。

そして、県民の生命、身体、財産を守る消防の使命を果たしてまいります。

結びに、本年が皆様にとって、より安全で安心な一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくおねがいします!



# 令和8年 消防出初式

令和8年の消防出初式は、1月4日から12日にかけて、県内25地区で消防団員ら約6900名が参加して行われました。

## 秋田県知事あいさつ(要約)

令和8年の新春を迎え、消防出初式が厳かに挙行されますことをお慶び申し上げます。

昨年、全国的に大規模な火災が相次いで発生し、2月に岩手県で発生した林野火災では、本県から212隊・延べ744名の消防隊が出動しました。険しい山間部での困難な消火活動にあたられた消防職員や消防団員の姿に、冷静な判断力と組織的な連携の重要性を実感したところです。

県としても、消防・防災体制や救急救命体制の更なる充実とともに、消防団や自主防災組織の強化など総合的な防災力の向上に取り組んでまいります。

結びに、本年が火災や災害のない平穏な一年であるとともに、皆様方のご健勝ご活躍を祈念し、お祝いの言葉いたします。



小坂町消防団



鹿角市消防団



北秋田市消防団



大館市消防団



能代市消防団



上水阿仁村消防団



八峰町消防団



三種町消防団

男鹿市消防団



藤里町消防団



五城目町消防団



湯上市消防団



井川町消防団



八郎湯町消防団



秋田市消防団



大湯村消防団



にかほ市消防団



由利本荘市消防団





仙北市消防団



大仙市消防団



横手市消防団



美郷町消防団



羽後町消防団



湯沢市消防団



東成瀬村消防団

### スキルアップ研修

を開催しました

12月4日(木)、秋田拠点センターアルヴェ(秋田市)で、消防団加入促進モデル事業の推進チームのメンバーなど約40名が出席してスキルアップ研修が開催されました。

初めに、筑波大学名誉教授松井豊氏が「消防団員の惨事ストレス対策」と題して講演を行いました。松井氏は、消防職員や警察官など職業的災害救助者に比べ、消防団員は惨事に遭遇

する機会が少ないため実際に遭遇した時の衝撃が大きいと指摘。惨事ストレスの対処法を学ぶ機会が少ない、団員の集合が難しくグループミーティングが行いにくいなどの特徴を挙げ、症状とケアの方法を体系的に学ぶことの重要性を解説しました。

続いて、NPO法人日本消防ピアカウンセラー協会副理事長幾田雅明氏が、惨事後の話聴く傾聴の実習を指導しました。参加者は、グループに分かれて熱心に取り組む、団員同士が支え合うことの大切さを再認識していました。



傾聴の実習

「防火防災に関する」作文  
コンクール表彰状伝達式

令和7年度「防火防災に関する」作文コンクール(生活協同組合全日本消防人共済会主催)で佳作に入選した、上小阿仁中学校三年三浦清香さんへの表彰状伝達式が行われました。  
1月4日(日)、消防出初式の式典で加賀谷和敏上小阿仁村消防団長から伝達され、その後、三浦さんが、一昨年の大雨災害を契機に、誰かのために活動する互助の大切さについて考察した作文を朗読しました。  
三浦さん、おめでとーございませう。今後のご活躍をお祈りいたしております。



消防団員指導員研修

秋田県消防学校

令和7年度消防団員指導員研修は、12月13日(土)、14日(日)の2日間、秋田県消防学校で開催され、17消防団から19名が参加しました。  
研修では、現場指揮、安全管理、住民指導、事例研究などの座学のほか、応急手当、救助活動、消火活動などの実技が行われました。



令和7年度 消防団員指導員研修受講者名簿

消防団名	階級	氏名
鹿角市消防団	分団長	田中 豊
大館市消防団	団員	盛 健 太
北秋田市消防団	班 長	杉 渕 和 紀
上小阿仁村消防団	副分団長	加賀谷 政 人
三種町消防団	団 員	檜 森 大 輝
八峰町消防団	分団長	武 内 靖 弘
潟上市消防団	副分団長	佐々木 誠 輝
五城目町消防団	分団長	石 井 康 幸
井川町消防団	団 員	高 橋 剛
秋田市消防団	分団長	佐々木 剛
由利本荘市消防団	分団長	加 藤 司
にかほ市消防団	分団長	佐 藤 浩 一
大仙市消防団	分団長	藤 田 知 也
美郷町消防団	班 長	澁 谷 武 志
横手市消防団	分団長	佐 藤 一 也
横手市消防団	分団長	築 山 誠
横手市消防団	副分団長	沼 倉 元 弘
湯沢市消防団	分団長	伊 藤 文 雄
羽後町消防団	分団長	鈴 木 篤

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター  
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社  
防災事業部

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号  
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311

支部情報アラカルト

部長以上の幹部団員  
に対する教養研修を実施

11月30日(日)、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部において、消防協会湯沢市雄勝郡支部主催の教養研修が開催されました。今回の研修は、部長以上の幹部団員を対象に、火災防ぎよにおける消防団と消防署の連携について学ぶことを目的としました。受講者は約50名に上り、消防団の運営に携わる幹部として必要な知識を深める貴重な機会となりました。講師には、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部の警防課職員が招かれ、具体的な火災対応事例を交えながら、消防団と消防署との効率的な



連携や、効果的な火災防ぎよ方法、安全管理等について説明がありました。特に、現場での迅速な情報共有や役割分担の重要性について強調されており、幹部団員たちは真剣に耳を傾けていました。

研修後の感想では、「消防団と消防署の連携がどれほど大切か改めて実感できた」との声が多く聞かれました。また、「普段の訓練においても、連携を意識した動きが求められることを再確認できた」という意見もあり、実践的な学びが多かったことがうかがえました。

消防団員・消防職員一人ひとりが火災現場でより安全に、効果的に活動できるよう、今後も研修の充実を図っていききたいと考えています。



〔情報提供〕湯沢市雄勝郡支部

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課消防保安室調べ)

	令和 8 年		令和 7 年			同期比較	
	1 月	累計	1 月	累計	年計	1 月	累計
建 物	20	20	14	14	186	6	6
林 野	0	0	0	0	7	0	0
車 輛	1	1	5	5	28	- 4	- 4
その他	2	2	0	0	54	2	2
合 計	23	23	19	19	275	4	4
死者数	3	3	0	0	16	3	3
負傷者数	4	4	10	10	51	- 6	- 6

お知らせ

広報紙「消防秋田」の印刷発行は、本号をもって終了いたします。今後は、秋田県消防協会のホームページに掲載しますので、引き続きご高覧いただければ幸いです。



トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880  
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検  
トーハツポンプ | キンバイホース  
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)